

2002年7月16日 有心館情報教育演習室 6

第14(最終)回 アンケート調査票の設計技法

[1] 参考文献

以下のリソースは、間淵領吾「社会調査の工具箱」(<http://www.nara-u.ac.jp/soc/staffs/mabuchi/toolbox.html>)からの抜粋です。

過去の社会調査データまたは集計結果を入手するための道具

印刷された情報源

- 佐藤博樹・石田浩・池田謙一(編), 2000, 『社会調査の公開データ: 2次分析への招待』, 東京大学出版会, 3,200円 + 消費税。
- 内閣総理大臣官房広報室(編)『世論調査年鑑: 全国世論調査の現況』, 大蔵省印刷局。
- 総理府(編), 1969-, 『月刊 世論調査』, 大蔵省印刷局。
- 竹内宏(編), 1989-, 『アンケート調査年鑑』, 並木書房。
- 日本能率協会総合研究所マーケティング・データ・バンク(編), 1992, 『生活者アンケート総覧』, 日本能率協会。
- 日本能率協会マネジメントセンター(編), 1992, 『アンケート・データブック』, 日本能率協会。
- アンケート四季報編集委員会(編), 『アンケート四季報』(季刊), 泰流社。
- アリアドネ, 1996, 『調査のためのインターネット』(ちくま新書), 筑摩書房。
- 労働調査論研究会(編), 1970, 『戦後日本の労働調査』, 東京大学出版会。
- 東京大学社会科学研究所(編), 1991, 『戦後日本の労働調査[分析篇覚書]』(東京大学社会科学研究所調査報告: 第24集), 東京大学社会科学研究所。
- 日下公人, 1994, 『お役所情報の読み方: 政府刊行物は「宝の山」』(講談社 + α文庫: G3-1), 講談社。

データ分析入門

- 今田高俊(編), 2000, 『社会学研究法: リアリティの捉え方』, 有斐閣, ¥2,200。
- 内容: 社会学研究法の諸類型, モノグラフ, ドキュメント解析法, エスノメソドロジー, 計量分析, 多変量解析, 数理モデル, シミュレーション, 研究法と理論の接続などについて大変わかりやすく書かれています。
- 推薦: 卒業論文・修士論文を書く前に是非一読することを薦めます。

統計学

- 福井幸男, 1995, 『知の統計学: 株価からアメリカンフットボールまで』, 共立出版, ¥2,060。
- 大村 平, 1969, 『統計のはなし』, 日科技連, ¥1,408。
- 佐藤 信, 『推計学のすすめ: 決定と計画の科学』(講談社ブルーバックス: B116), 講談社, ¥640。

- ラリー・ゴニック&ウルコット・スミス, 1995, 『マンガ 確率・統計が驚異的によくわかる』, 白揚社, ¥1,900.
- ボーンシュテット&ノーク, 『社会統計学』, ハーベスト社.
- 郡山彬・和泉沢正隆, 1999, 『統計・確率のしくみ』(入門ビジュアルサイエンス), 日本実業出版社, ¥1,300.
- ダレル・ハフ, 1968, 『統計でウソをつく法: 数式を使わない統計学入門』(講談社ブルーバックス:B120), 講談社, ¥620.
- 大村 平, 1992, 『数字は魔物』, ごま書房, ¥1,200.
- 林知己夫, 1984, 『調査の科学』(講談社ブルーバックス:B571), 講談社.
- 飽戸弘, 1987, 『社会調査ハンドブック』, 日本経済新聞社, ¥1,800.
- 原純輔・海野道郎, 1984, 『社会調査演習』, 東京大学出版会, ¥2,000.
- 松原 望, 1996, 『わかりやすい統計学』, 丸善株式会社.
- 永田 靖, 1996, 『統計的方法のしくみ: 正しく理解するための 30 の急所』, 日科技連, ¥2,500.
- 清水 誠, 1996, 『データ分析ははじめの一步』(講談社ブルーバックス:B1145), 講談社, ¥760.
- 清水 誠, 2000, 『推測統計ははじめの一步』(講談社ブルーバックス:B1283), 講談社, ¥820.
- S.チャタジー & B.ブライス, 1977=1980, 佐和隆光・加納悟(訳), 『回帰分析の実際』, 新曜社.

多変量解析

多変量解析入門

- 柳井晴夫・岩坪秀一, 1976, 『複雑さに挑む科学: 多変量解析入門』(講談社ブルーバックス:B297), 講談社.
- 手法: 重回帰・判別・主成分・因子・クラスター・数量化1~4類
- 特徴: わかりやすい.
- 水野欽司, 1996, 『多変量データ解析講義』, 朝倉書店, ¥5300.
- 手法: 重回帰・判別・主成分・因子・クラスター・数量化1~4類
- 特徴: 数学の苦手な人には辛いかもしれませんが, 説明は懇切丁寧です. 各手法の注意点について言及しており親切です. 各章末のコラムが啓蒙的です.
- 木下栄蔵, 1987, 『わかりやすい数学モデルによる多変量解析入門』, 啓学出版, ¥2270.
- 手法: 重回帰・判別・主成分・因子・クラスター・数量化1~4類
- 特徴: 数学的説明が結構しっかりしており, わかりやすい. 筆者は野球好きなんだということがわかります(笑).
- 豊田秀樹, 1998, 『共分散構造分析[入門編] - 構造方程式モデリング - 』, 朝倉書店, ¥4,800.

SPSS のマニュアルとして使えるもの

- 新村秀一, 1995, 『パソコンによるデータ解析: 統計ソフトを使いこなす』(講談社ブルーバックス:B1095), ¥800.
- 手法: クラスター・主成分・重回帰分析
- 特徴: SPSS におまけで付いてくるデータを SPSS で分析しつつ, 多変量統計の一部の初歩的段階までを手際よくまとめたり, SPSS ユーザーには特に役立つはずですが, SPSS ユーザー以外にも有益でしょう. 新書版なので手軽です. ただし, 多変量については, 全体の 1/4 程度しか触れていません.
- 石村貞夫, 1998, 『SPSS による多変量データ解析の手順』, 東京図書, ¥2800.

手法:重回帰・ロジスティック回帰・プロビット・非線型回帰・ログリニア・ロジット対数線形・多次元尺度法・コンジョイント・コレスポンデンス・因子・主成分・判別・クラスター・パス解析・共分散構造分析

特徴:長所でもあり短所でもあると思いますが、数学的説明は皆無です！SPSSで何をクリックし、出力のどこをどう読めば良いかが、サルでもわかるように書いてあります(いや、サルには無理です)。

分析事例集

吉澤正・芳賀敏郎編, 1992, 『多変量解析事例集』(第1集), 日科技連, ¥3204。

手法:重回帰・数量化1類・主成分分析

特徴:筆者は全員が民間企業の人なので、分析事例が実践的であり、各手法について実務での使い道を考える際に役立つと思われます(一方、通常の統計学教科書は、データが架空例だったり、実務から懸け離れたものが多いように思います)。ただし、分析結果の事例集なので、個々の手法の数学的基礎については触れられていません。

増山英太郎・小林茂雄, 1989, 『センソリー・エバリュエーション:官能検査へのいざない』, 垣内出版, ¥3845。

手法:重回帰分析・因子分析

特徴:実務データを使った分析例が豊富です。因子分析の説明が良いと思います。

豊田秀樹(編), 1998, 『共分散構造分析[事例編] - 構造方程式モデリング - 』, 北大路書房, ¥3,200。

手法:共分散構造分析

特徴:

注意事項集

繁枘算男・柳井晴夫・森敏昭, 1999, 『Q & Aで知る統計データ解析:DOs and DON'Ts』(心理学セミナーテキストライブラリ:3), サイエンス社, ¥2400。

手法:重回帰・因子・共分散構造分析・正準相関・判別・多次元尺度構成法・数量化3類・コレスポンデンス・クラスター分析

特徴:基本的な、しかし案外知らないような注意点について解説しています。数学的説明は、ほとんどありません。重回帰分析・因子分析・共分散構造分析については詳しく述べているが、他の手法については紙数をさほど割いていません。